

# 日大土木会会報

発行：日大土木会広報部会

〒101-8308  
東京都千代田区神田駿河台1-8  
日本大学理工学部土木工学科内  
TEL：03-3259-0662  
FAX：03-3293-3319  
http://www.nu-dobokukai.com

## 平成22年度 日大土木会通常総会開催



総会の様子

平成22年度日大土木会通常総会が平成22年6月25日(金)理工学部駿河台校舎1号館会議室において開催された。日大土木会会長の松田慎一郎氏の挨拶の後に、竹澤三雄氏が議長に選出され、議事進行をした。総務部会長の鎌尾彰司氏の議案説明により、第1号議案・平成21年度収支決算・事業報告・監査報告(表1 収支決算総括表)第2号議案・平成22年度事業計画第3号議案・平成22年度予算案(表2)第4号議案・役員改選について審議され、いずれの議案も満場一致で承認された。



懇親会の様子

第4号議案で承認された新役員は、会長の松田慎一郎氏(理工学部S44年卒)、副会長の鎌尾彰司氏(総務部会、丹内幸一氏(業務部会)、正木浩太郎氏(企画部会)、盛武建二氏(研究部会)が留任され、広報部会長には西松好郎氏(理工学部S48年卒)が竹澤三雄氏に代わり新しく就任した。また、理事には土木系学科の主任教授、理工土木・松島眸教授、理工交通・福田敦教授、生産土木・落合実教授が新しく加わった。また退任者にもない新しく、梶山修氏(理工土木S44年卒)、後藤浩氏(理工土木S45年卒)、佐藤洋一氏(工学部S59年卒)、重村智氏(理工土木S47年卒)、中野徹氏(理工土木S43年卒)、深澤榮造氏(理工土木S43年卒)、峯岸邦夫氏(理工交通S62年)(五十音順)の7名が理事に就任し合計47名となった。



松田慎一郎会長

監事には、座親勝喜氏(理工土木S34年卒)と竹澤三雄氏(理工土木S37年卒)が就任された。理事・監事の任期はそれぞれ2年間である。通常総会終了後、場所を会議室からカフェテリアに移し懇親会が行われた。懇親会は元日大土木会会長の山田清臣氏(日本大学名誉教授)の発声により開会され、約1時間にわたり和やかなムードで懇親を深められて、森元峯夫氏



山田清臣元会長

(元日大土木会会長)の中締め挨拶により懇親会が閉会した。

表1 収支決算総括表

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

収入	3, 263, 141円
支出	1, 062, 946円
次年度繰越収支差額	2, 200, 195円

### 1) 収入の部

科目	予算額	決算額	増減
会費収入	1, 300, 000	1, 433, 580	133, 580
総会収入	100, 000	91, 000	▲9, 000
雑収入		258	258
前年度繰越金	1, 738, 303	17, 838, 303	0
収入合計	3, 138, 303	3, 263, 141	

### 2) 支出の部

金額単位：円

科目	予算額	決算額	備考
1. 事業費	1, 000, 000	606, 014	
会議費		154, 004	総会、部会等
印刷製本費		160, 100	名簿・会報等
教育補助費		251, 000	各学部教育補助
講演料		5, 000	特別講演等
ホームページ等		35, 910	サーバーレンタル等
出張旅費		0	
2. 管理費	400, 000	456, 932	
消耗品費		86, 764	事務用品・封筒
通信運搬費		338, 383	総会案内送料
手数料		1, 785	振込手数料
アルバイト		30, 000	封入作業・名簿整理
3. 予備費	100, 303	0	
4. 次年度繰越金	1, 638, 000	2, 200, 195	
支出合計	3, 138, 303	3, 263, 141	



講演される盛武建二氏

### 特別講演講師に 盛武建二氏

平成22年度日大土木会通常総会終了後に特別講演会を開催した。講師として日大土木会副会長の盛武建二氏(工学部S44年卒・元会計検査院)が「最近の会計検査院の役割」と題して会計検査院の役割・業務内容や関係法令などの解説、近年の特徴および傾向等を配布資料を用いて約40分にわたり講演した。講演会終了後には、出席した日大土木会会員と活発な意見交換をして閉会した。

表2 予算案

1) 収入の部		金額単位：円	
科目	平成22年度予算額	平成21年度予算額	備考
収入			
会費収入	1,300,000	1,433,580	年会費
雑収入	100,000	91,258	総会費・利息
前年度繰越金	2,200,195	1,738,303	
収入合計	3,600,195	3,263,141	

2) 支出の部		金額単位：円	
科目	平成22年度予算額	平成21年度予算額	備考
事業費	1,000,000	606,014	総会・委員会・印刷製本・講演料・活動支援・旅費等
管理費	500,000	456,932	消耗品・通信運搬・アルバイト等
予備費	0	0	
次年度繰越金	2,100,195	2,200,195	
当期支出合計	3,600,195	3,263,141	

**日大土木会の教育支援事業**

**【工・土木】平成21年度 現地見学会 OB懇談会開催**

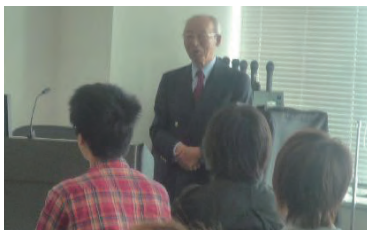


茨城空港建設現場でのOBと参加者

見学先は開港を控えた茨城空港の建設現場と日本原子力東海研究開発センター、常陸那珂港を見学した。日大OBの活躍と土木事業の大切さについて、たいへん感激していた。見学の対応に当たっては、工学部OBの日本風力開発(株)顧問の根本亮氏(工3回卒業)、茨城県開発公社理事長坂入健氏(工17回卒業)、ライト工業(株)執行役員、日本大学講師 盛武建二氏(工17回卒業)にお世話になった。さらに宿泊先の懇談会には(株)長大理事、日本大学工科大学友会茨城県支部長 戸薫氏(工13回卒業)、茨城県都市整備(株)小林正樹氏(工19回卒業)も参加していただき、後輩に対する心構えと日大人としての誇りについて薫陶を受け、大いに励ました。



講演される盛武建二氏



講演される根本亮氏

2・平成22年度 学生見学会 並びにOB・OG懇談会  
学生による現場見学とOB・OGとの懇談会平成22年10月18日(月)霞ヶ関庁街視察会  
計検査院の機構及び業務説明、(大成・大豊・銭高建設共同企業体 品説明)、大成・大豊・銭高建設共同企業体品川線シールド作業所の見学を実施した。参加者は30名(引率教員2名、学生28名)であった。



霞ヶ関ビルをバックに会計検査院研修を終えて

と会計検査院の業務」を題に「ライト工業(株)執行役員 盛武建二氏に講演をしていた。以下は見学に参加した学生の感想です。『見学会に参加して』  
工学部土木工学科1年 齋藤正一  
今回参加させていただいた見学会はこれからの自分にとってとても大切な経験となりました。自分たちの学科の先輩方が社会に出てどのような仕事をしているのかを具体的にみる事ができたというのは、本当に貴重な経験でした。またそれぞれの現場で行っていたアイデア、企業の説明やプレゼンテーションの中から先輩方がどのような態度で自分の仕事に取り組んでいるかがしっかりと伝わってきました。

最初に見学させていただいた会計検査院では「土木事業の現状と課題」として決定的な現状が良いとは言えない建設業を取り巻く現状と課題を知りましたが、私たちの能力を社会に発揮することはまだまだあり、決して消え失せてしまふ事業ではないことを改めて教えていただきました。次





トンネル内を見学

に見学に行った大成建設では現在行われている、中央環状品川線シールドトンネル工事の現場を見学させていただきました。ここでは最新のシールド技術や実際の現場の雰囲気や空気に触れることができ、とてもおもしろかったです。

私が今回現場見学会を終えてもとても感じたことは、何より先輩方が学び続けているということ。社会人になつたら勉強は終わりではなく、みんな努力し続けているということ。その姿勢や気持ちがとても伝わってきました。また自分たちの仕事に情熱を持ち、興味を持って人生を歩んでいるということ。今の社会は人間同士の繋がりに余裕が無いように見えます。能力の無い人は社会から切り捨てられる時代のように思えます。

私たち大卒も40%近くが職に就けないという時代です。このような時代だからこそ、もう一度私たちは自ら湧いてく

る興味、関心を大切に時代が求めている技術、知を探索し続ける姿勢を持つ必要があるのだなと考えました。また自分の今取り組んでいることに誇りを持ちそこに情熱を持つて取り組んでいくことが必要であると考えました。このような過酷な時代だからこそ私達は、たくさんの方を考へて今自分ができているのかを真剣に考えることができないか。チャンスだととらえて1日、1日を大切に自分のできることをしていきたいと思ひます。そして、この人生を楽しくむことを忘れずに大学生活を有意義にそして自分が生涯を通して極めたい仕事を見つけてようと思ひます。このように様々なことを今回の経験は考へさせてくれました。

先輩方、企業の皆様、貴重な経験をありがとうございました。自分も社会に胸を張って出られるように今を大切に日々歩もうと思ひます。

『見学会に参加して』

工学部土木工学科1年 里村 みゆき

大成建設の現場ではシールド工事の関連施設まで見学することが出来、仕事をする上での管理体制について知ることが出来ました。

この見学会に参加したことで、OBの相馬さんが現場で活躍しており、女性でも土木作業に携わることが出来ることを知り、私も土木に携われる仕事が出来るようにしたいと思ひます。

【理工・土木】

3・卒業式で大学院生を表彰

理工土木では、毎年優秀な研究成果を修めた大学院生(修士課程)を学位記伝達式において「日大土木会奨励賞」として、表彰を行っている。

平成21年度は、宮島麻里さん(水理研究室)をはじめ5名の大学院生に対して松田慎一郎日大土木会会長から賞状並びに副賞(図書カード)の授与があった。

ことであり、社会の現実を実感しました。

大成建設の現場ではシールド工事の関連施設まで見学することが出来、仕事をする上での管理体制について知ることが出来ました。

この見学会に参加したことで、OBの相馬さんが現場で活躍しており、女性でも土木作業に携わることが出来ることを知り、私も土木に携われる仕事が出来るようにしたいと思ひます。



トンネル内を見学



講演会の様子

4・「土質力学と人間学」講演会 高見之孝氏を講師に迎えて

平成22年10月25日(水)、13・20・24・50にわたり、理工学部土木工学科3年生(出席者およそ90名)を対象にした特別講演会が開催された。講演会の講師は高見之孝氏。理工土木40年卒業で「土質力学と人間学」という演題で行われた。

高見氏は、卒業後、運輸省航空局建設課に勤務され、空港の建設に携わってこられ、途中オランダデルフト工科大学に留学されるなどの経歴を持つ。現在は社団法人海洋調査協会第二技術部長をされている。

講演会はパワーポイントを使い、ご自身の経験を元に、「軟弱地盤のすべりに関する話題」や「フーチング基礎の支持力の話題」さらには「空港内に設置する石油タンクの収支計算の話題」、「ご自身の留学経験から国際人になるための英語力」など多岐にわたる講演内容であった。

途中休憩をはさみ、最後はこれから就職活動を控える学生へのアドバイスを「愛することの大切さ」、「心豊かに生きる」、「幸せに生きる」などの言葉のキーワードを用いて本学のそして人生の先輩として学生に対して講演をしていただいた。



4・「土質力学と人間学」講演会

港の建設に携わってこられ、途中オランダデルフト工科大学に留学されるなどの経歴を持つ。現在は社団法人海洋調査協会第二技術部長をされている。

講演会はパワーポイントを使い、ご自身の経験を元に、「軟弱地盤のすべりに関する話題」や「フーチング基礎の支持力の話題」さらには「空港内に設置する石油タンクの収支計算の話題」、「ご自身の留学経験から国際人になるための英語力」など多岐にわたる講演内容であった。

【理工・土木】

1920年(大正9年)に日本大学高等工学校土木科として創設されて以来、平成22年(2010年)で90周年を迎えました。もちろん私学では最古の歴史と伝統を誇っております。本学科では校友会土木部会と協力して、90周年記念事業実行委員会(委員長・内田興太郎土木部会長・S33年卒)を組織し、①記念式典・祝賀会の開催、②ホームカミングデーの実施、③90周年記念誌の刊行、に向けて活動して参りました。以下に詳細について報告させていただきます。

①創設90周年記念式典・祝賀会の開催

平成22年9月11日(土)に日本大学会館にて、滝戸俊夫理工学部長をはじめとした来賓にご参列いただき、卒業生約400人の出席の下に盛大に開催されました。(写真は挨拶

1920年(大正9年)に日本大学高等工学校土木科として創設されて以来、平成22年(2010年)で90周年を迎えました。もちろん私学では最古の歴史と伝統を誇っております。本学科では校友会土木部会と協力して、90周年記念事業実行委員会(委員長・内田興太郎土木部会長・S33年卒)を組織し、①記念式典・祝賀会の開催、②ホームカミングデーの実施、③90周年記念誌の刊行、に向けて活動して参りました。以下に詳細について報告させていただきます。

②理工学部ホームカミングデー

平成22年10月2日、駿河台校舎において開催された。第一部は全学科合同で徳田章氏(写真・NHKアナウンサー・50年本学法学部卒)の記念講演会が行



講師の高見之孝氏

③日大土木創設90周年記念誌の刊行

土木工学科90周年記念誌が、平成23年1月に発刊されており、本学の歴史を中身にまとめた「学科編」と校友からの寄稿文、各年代から

さされている松島主任教授記念式典終了後、会場をアルカディア市ヶ谷に移した「記念祝賀会」は、出席者の中で最年長者である伊澤倫一郎元教授(S18年卒)の乾杯の発声で開始され、出席された方々は昔を懐かしみ話が尽きる様子はありませんでした。

②理工学部ホームカミングデー

平成22年10月2日、駿河台校舎において開催された。第一部は全学科合同で徳田章氏(写真・NHKアナウンサー・50年本学法学部卒)の記念講演会が行



式典の様子

式典で挨拶される松島主任教授



参加者で記念撮影(ホームカミングデー)

われ、その後各学科に分かれての第2部が開催され、土木工学科では約80名の卒業生の方々に参加いただき、学科主任挨拶、学科の現況報告などが行われました。終了後は懇親会が開催され、全員での記念写真撮影で閉会となりました。

講演される徳田章氏

われ、その後各学科に分かれての第2部が開催され、土木工学科では約80名の卒業生の方々に参加いただき、学科主任挨拶、学科の現況報告などが行われました。終了後は懇親会が開催され、全員での記念写真撮影で閉会となりました。



提供いただいた卒業アルバムおよび座談会等が掲載されている「校友会編」の2冊セットになっております。(左の写真は記念誌の表紙です。表)なお記念式典出席者にはすでに記念誌は配布されております。また、出席されていなくても購入することができずので、以下にお問い合わせください。(理工学部校友会事務局 TEL03-3259-10650)

【理工・交通】

**交通現象解析合宿の実施**  
本学科では、1962年の学科創設時より合宿形式による屋外実習を学科伝統行事として実施しています。2001年より、交通技術者の育成を目指す社会交通工学科の特徴を生かした社会貢献型演習として、専門必修科目である交通現象解析による交通調査を静岡県下田市(2001・2006年)、静岡県富士宮市(2007年)

継続中)にて、実施しております。

第4回公共政策デザインコンペ 黒川賞・優秀賞受賞

このたび、第4回公共政策デザインコンペ(第39回土木計画学研究発表会春大会と同時間開催)(2009年6月)にて、本学科設置科目である交通現象解析の活動内容を「こちら学生交通診断所一静岡県下田市の交通診断と行政への提案」と題して大学院生11名がポスターにまとめ発表し、学会参加者の投票で選ばれる「優秀賞」と黒川先生(早稲田大学客員教授)により選出される「黒川賞」を受賞(ダブル受賞)しました。

セグウェイチャレンジ始動

セグウェイジャパン株式会社が募集した「セグウェイチャレンジ」プログラムに本専攻交通研究センターが提案した「セグウェイからはじまる交通まちづくり」仮想のまちIIキャンパスでの展開in日本大学船橋キャンパス」が採択されました。本研究プロジェクトでは、船橋キャンパスを仮想のまちとしてとらえ、6台のセグウェイをキャンパス内でのさまざまな移動シーンに具体的に活用し、セグウェイがまちに普及していった場合を想定して、安全で快適な使い方を空間の設計・運用(交通工

学)の各視点から、さまざまな活用方法について検討を進めています。また、本学科で実施されている交通まちづくり工房の一つのプロジェクトとなっており、セグウェイを活用した交通まちづくりの研究プロジェクトを実施しております。

【生産・土木】

**学科の近況等の記事**  
本学科のスタッフは、西川肇先生(2010年3月25日)、徐明謙先生(2010年3月31日)、高橋里佳先生(2010年3月31日)、山本高義先生(2010年4月8日)が退職され、本年度から鷺見浩一准教授、青山定敬助教、山口晋助手をお迎えしました。本年度、土木学会より西川肇先生に名誉会員の称号が授与されました。

**【工・土木】**  
JABEE認定  
予てより準備を進めておりました、本学科のJABEE教育プログラムが2010年5月13日付けで認定となりました。

5月13日付けで認定となりました。プログラム名は「土木工学科」で、認定期間は2008年4月1日から2011年3月31日までの3カ年です。日本大学の土木系学科のJABEE認定はこれで3校目となります。JABEE認定を視野に入れた工学部土木工学科の取り組みは比較的早く開始し、平成13年度カリキュラムではJABEEに対応した構成としました。しかし、関係資料の収集やPDC Aサイクルの制度設計も自己流であり、JABEE受審準備を進めるのにあたり試行錯誤しながら変更を重ねました。2007年と2010年には学科独自に外部審査を実施して改善を行い、2009年10月に実地審査を受審しました。審査結果のC、W評価の項目については平成21年度中に改善し、平成22年4月から中間審査に向けた準備を始めております。中間審査時には授業時間を対象とする2010年度適用版への対応が求められており、更なる改善を図り技術者として人間力を持った学生の教育につとめていきたい。

**各学科 就職状況**  
平成21年度の各学科の就職状況を下表にまとめました。

表 平成21年度就職状況

分類	理工・土木			理工・交通			工・土木			生産・土木		
	学部	院	合計	学部	院	合計	学部	院	合計	学部	院	合計
1. 建設業、設備工事業	49	6	55	13	1	14	64	3	67	105	4	109
2. 製造業(製鉄、セメント)	9	0	9	0	1	1	5	0	5	9	0	9
3. 電気、ガス	5	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 運輸、通信	8	1	9	12	1	13	10	1	11	5	0	5
5. 不動産業	5	0	5	1	0	1	1	0	1	2	0	2
6. コンサルタント、サービス業	10	0	10	14	6	20	18	0	18	29	0	29
7. 商社、金融、保険、卸売、小売業	12	3	15	0	0	0	3	0	3	6	0	6
8. 公務員	56	9	65	10	6	16	4	0	4	24	4	28
9. 公団、公社、独立行政法人	0	0	0	3	0	3	1	0	1	0	0	0
10. その他	11	4	15	7	1	8	15	0	15	14	1	15
11. 進学	23	2	25	28	0	28	7	1	8	16	0	16
合計	188	26	214	88	16	104	128	5	133	210	9	219

単位(人)



# 日大土木系 3学部4学科教員紹介

この名簿は平成22年10月1日現在のものです。最新の状況および教員の詳細は、各学科・各教員のホームページよりご覧ください。

◎印：教室主任

※印：環境安全工学科と兼任(生産工学科)

## 日本大学工学部土木工学科

〒963-8642 福島県郡山市田村町徳定字中河原1番地

TEL : 024-956-8705 FAX : 024-956-8858

<http://www.ce.nihon-u.ac.jp/doboku/index.html>

氏名	職名	専門
高橋 迪夫	教授	水理学
五郎丸英博	教授	橋梁工学
◎長林 久夫	教授	水理学
古河 幸雄	教授	土質工学
中村 晋	教授	地震工学、動土質力学
堀井 雅史	教授	交通計画
渡辺 英彦	教授	岩盤工学
岩城 一郎	教授	コンクリート工学
藤田 豊	准教授	河川工学
知野 泰明	准教授	土木史、景観工学
仙頭 紀明	准教授	地盤工学
子田 康弘	准教授	コンクリート工学
佐藤 洋一	専任講師	衛生工学
梅村 順	専任講師	地盤工学

## 日本大学生産工学科土木工学科

〒275-8575 千葉県習志野市泉町1-2-1

TEL : 047-474-2420 FAX : 047-474-2449

<http://www.civil.cit.nihon-u.ac.jp/>

氏名	職名	専門
遠藤 茂勝	教授	海岸工学、港湾工学
河合 紘茲	教授	鉄筋コンクリート工学
藤井 寿生	教授	測量学、リモートセンシング
木田 哲量	教授	構造工学、橋梁工学
大木 宜章	教授	上水環境システム、環境工学
三田地利之	特任教授	地盤工学
柳内 睦人	教授	コンクリート工学
高崎 英邦	特任教授	施工システム工学、建設マネジメント
工藤 勝輝	教授	測量学、建設システム工学
阿部 忠	教授	構造工学、橋梁工学
◎落合 実	教授	海岸工学
澤野 利章	教授	構造工学
秋葉 正一	教授	土質工学、道路工学
伊藤 義也	准教授	建築材料工学
小田 晃	准教授	土砂水理、砂防、河川
鷺見 浩一	准教授	海岸工学
青山 定敬	助教	測量学、リモートセンシング、水文学
高橋 岩仁	助教	環境工学、衛生工学
水口 和彦	助教	構造工学
加納 陽輔	助教	地盤工学、舗装工学、交通工学
朝香 智仁	助教	測量学、リモートセンシング、水文学
山口 晋	助教	コンクリート工学、鉄筋コンクリート工学、土木材料学
※越川 茂雄	教授	リサイクル工学、コンクリート工学
※五十畑 弘	教授	鋼橋、土木計画
※岩下 圭之	准教授	コンピュータデザイン工学
※保坂 成司	専任講師	施工システム工学

## 日本大学理工学部土木工学科

〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台1-8-14

TEL : 03-3259-0687 FAX : 03-3259-3319

<http://www.civil.cst.nihon-u.ac.jp/>

氏名	職名	専門
山崎 淳	教授	コンクリート構造
大津 岩夫	教授	水理学
塩尻 弘雄	教授	構造力学、計算力学
徳江 俊秀	教授	土質力学、地盤力学
松島 眸	教授	環境衛生工学
島崎 敏一	教授	交通計画、建設マネジメント
久保田 進	教授	海岸工学
岸井 隆幸	教授	都市計画、交通計画
◎前野 賀彦	教授	海岸環境工学、海洋地盤工学
野村 卓史	教授	風工学、計算力学
鈴木 順一	教授	計算力学
梅村 靖弘	教授	材料工学、コンクリート工学
安田 陽一	教授	水理学
齋藤 利晃	教授	環境工学
鎌尾 彰司	准教授	地盤工学
羽柴 秀樹	准教授	測量学
後藤 浩	准教授	海岸・港湾工学
小林 義和	准教授	地盤工学、地震工学
金子雄一郎	准教授	社会資本マネジメント、交通計画
高橋 正行	専任講師	水理学
重村 智	専任講師	土質力学
仲村 成貴	専任講師	地震工学
大沢 昌玄	専任講師	都市計画、都市交通計画、土木史
吉田 征史	専任講師	水環境工学
小沼 晋	助教	環境分析、微生物動態解析、生態工学
佐藤 正巳	助手	建設材料、コンクリート工学
下原 祥平	助手	交通計画
長谷部 寛	助手	構造工学、風工学

## 日本大学理工学部社会交通工学科

〒274-8501 千葉県船橋市習志野台7-24-1

TEL : 047-469-5239 FAX : 047-469-2581

<http://www.trpt.cst.nihon-u.ac.jp/>

氏名	職名	専門
天野 光一	教授	景観、都市・地域計画、交通空間計画
伊澤 岬	教授	都市デザイン、景観設計、福祉交通
伊東 孝	教授	土木史、景観デザイン、都市計画
岩井 茂雄	教授	環境工学、舗装工学
佐田 達典	教授	空間情報工学、測量学
下辺 悟	教授	基礎力学、地盤工学
轟 朝幸	教授	交通計画、地域計画
◎福田 敦	教授	交通システム分析、国際開発工学
藤井 敬宏	教授	交通工学、交通環境工学
柳沼 善明	教授	コンクリート構造
吉川 勝秀	教授	河川流域工学、地域計画、国土計画
小早川 悟	准教授	交通工学、都市交通計画、物流計画
安井 一彦	准教授	交通工学、交通信号制御
中山 晴幸	専任講師	情報工学、土質工学
峯岸 邦夫	専任講師	地盤工学、道路工学
有村 幹治	助教	交通計画、ITS
石坂 哲宏	助教	交通計画、交通工学
押田 佳子	助教	造園学、緑地計画、ランドスケープエコロジー
長田 哲平	助教	都市計画、交通計画、ロジスティクス
西内 裕晶	助教	交通工学
江守 央	助手	都市デザイン、福祉のまちづくり
斉藤 準平	助手	コンクリート構造
田中絵里子	助手	景観、環境保全